

「認めあい、支えあい、おもてなしの心で暮らすまち 高松」の実現を目指して

台湾のパラリンピック陸上競技選手との交流を通し、四国八十八箇所霊場のお遍路さんへのお接待に代表される「おもてなしの心」を取り入れた高松らしいユニバーサルデザインを推進。

ユニバーサルデザインの街づくり

○庁内推進体制

ユニバーサルデザイン推進室を設置するとともに全所属に推進員を配置し、すべての施策にユニバーサルデザインの考え方を反映

○陸上競技場を障がい者スポーツの聖地に

ユニバーサルデザインに対応した屋島競技場(屋島レクザムフィールド)において、バリアフリー化を進めるとともに、障がい者スポーツ大会の誘致を行う

※屋島競技場は、駐車場から室内競技場等、フィールドまで段差なく移動できる等、障がい者スポーツ関係者の評価が高い



心のバリアフリー

○市民ボランティア育成研修等の実施

日本パラ陸上競技選手権大会及び東京パラリンピック大会の事前合宿・事後交流に向け、研修等を実施し、市民ボランティアを育成

○情報発信

観光施設のバリアフリー情報等を発信するほか、公共施設等のバリアフリー情報等を掲載したユニバーサルデザインマップの作成に向け取り組む



○啓発事業の実施等

ユニバーサルデザイン展

ユニバーサルデザインアイデアコンテスト

申請書等のユニバーサルデザイン化を推進

ユニバーサル
デザイン

おもてなし
の心

高松市の
ユニバーサル
デザイン